



沢木 恵太さん

株式会社おかん代表取締役CEO

PROFILE

中央大学卒業後、一部上場コンサルティング会社で新規事業企画などを行う。その後、ゲーム会社を経て、eラーニング事業のスタートアップに参加。2012年12月に株式会社おかん（当時・CHISAN）を設立し、代表取締役に就任。2014年3月には、ぶち社食サービス「オフィスおかん」を開始し、注目を集めている。

新たな福利厚生モデル 「オフィスおかん」の展開で 働く人のライフスタイルを豊かにする経営者

中央大学商学部を卒業後、コンサルティング会社に就職し、激務の中で身をもって食生活の重要性を体感する。その後、会社設立を目指し、Webの知識を得るためにゲーム会社へ転職。さらに起業の体験をするために、eラーニング会社で経験を積み、2012年12月に株式会社おかん（当時・CHISAN）を設立する。まずは単独で個人向けeコマースを展開した後、2014年3月に法人向けサービス「オフィスおかん」をリリースし、多数のメディアで紹介されるなど注目を集めて急成長。「働くひとのライフスタイルを豊かにする」をミッションに掲げ、福利厚生のプラットフォームサービスの確立を目指す経営者に話を聞いた。

個人と企業の課題を解決するというビジネス

——オフィス向けにユニークなお惣菜提供サービスを展開されているそうですが、現在のビジネスについて教えてください。

「オフィスおかん」という、ぶち社員食堂サービスを展開しています。具体的には、企業などの法人と契約し、職場に冷蔵庫を設置して真空パックのお惣菜を入れておき、従業員が好きなときにそれを1つ100円〜で食べられるというものです。メニューは、サバみそや肉じゃが、ひじき煮などの和食が中心で、1パック70〜100グラム程度の手軽なものです。

従業員は、昼だけでなく、朝や残業時など好きなタイミングで食べられますので、忙しい職場などでは効率的だと喜ばれています。お惣菜は、基本的には1つ100円ですが、カレーや野菜スープ、オーガニックドリンクなどには200円のものもあります。ご飯も提供していますので、たとえばご飯とお惣菜2つの300円程度でランチにすることもできます。

もっとも小型のプランでも、1台の冷蔵庫に35〜50個程度のお惣菜が入っていますので、好みに合わせて選ぶことができます。旬の食材などを利用して、内容はローテーションで変化させていきます。お弁当に1品をプラスしたり、忙しい主婦の方が家に買って帰ったりというのもあり、さまざまな形でご利用いただいていますね。

個人としては、職場でも健康的・規則的な食事の摂取が可能となり、企業としては、人材確保や従業員満足度向上が可能となります。つまり私たちは、個人と企業の課題を解決するというビジネスを行っているのです。企業からはプランに応じて月額固定の料金をいただき、従業員は利用のたびに100円を払うというものです。

プランは、月間100個の商品を提供するSSプランから600個のLプランまであり、基本料金は3〜18万円となっています。それ以上のボリュームの場合は個別の見積りにしていますので、企業のニーズに合わせた組み立てが可能です。この

サービス導入により、企業としては福利厚生の充実につながっているんです。

——これまでにない発想のビジネスですね。オフィスへのお菓子の設置が近いモデルですが、より広がりがあります。スタートはいつ頃ですか。

2014年3月にサービスを開始して2年が経ちましたが、約300社に導入していただいています。当初は東京23区だけに展開エリアを限定していましたが、現在拡大中で、千葉県浦安市や市川市、神奈川県川崎市や横浜市にも展開しています。導入企業は、社員数名のベンチャー企業から数千名の一部上場企業まであり、業界も製造業や金融、IT、サービスなど多角的で、クリニックなどでも利用していただいています。

傾向としては、働いている人のサポートをしたいという企業に取り入れていただいていますね。私たちが行っているのは、単なる食事のデリバリーサービスではなく、企業と個人の課題解決のソリューションサービスです。導入によって社内のコミュニケーションが促進されたり、女性の復職率が向上したり、採用活動でのアピールができたりといった具体的なメリットを生み出しています。

このような福利厚生のサービスは、一度導入して従業員に定着すると、やめることで不便が生じてしまうため、かなり高い比率で継続的に利用していただけます。お惣菜を作っているのは地方の食品メーカーで、東北から沖縄まで全国6カ所で製造しています。全国各地で作ることにより、地域の旬の食材を利用することができますし、地域は工場などのリソースに余裕がありますので、パートナーは見つけやすいですね。

——首都圏で展開されているのに、全国各地で製造されているのは意外ですね。物流費などのコストが割高になるのではありませんか。

それがそうでもないんです。都市部には製造工